



市立病院 内科部長
福田 俊一

今回は血液の病気についてお話しします。

みなさんが最も身近に接することの多い、貧血ですが、世界保健機構（WHO）では、ヘモグロビン（Hb）の値でこれを判定しています。しかし、成人と高齢者、男性と女性ではその基準が異なっています。成人男性ではHb13.0g/dl未滿、一方、成人女性は12.0未滿、65歳以上の高齢者、妊婦では11.0未滿となります。

貧血の一般的な症状として、顔色不良、倦怠感、易疲労感、頭痛、労作時動悸、息切れ、微熱などがあります。鉄欠乏性貧血は女性に多いとされていますが、決して男性に見られない病気ではありません。その成因は、子宮筋腫、過多月経など性器出血が多いですが、消化管出血も見逃せない原因、とりわけ男性では胃、十二指腸の潰瘍、そして胃がん、大腸がんの

初期兆候の時もあり、注意が必要です。

また、高齢者の貧血は慢性的に発症し、活動性の低下から貧血症状が出にくく、心疾患、肺疾患などの症状と紛らわしく、軽度の貧血が悪性腫瘍、膠原病などの最初の症状となることもあります。高齢者の入院患者において、Hb11.0未滿の貧血を認めた中で、最も多かったのは悪性腫瘍（約25%）、次に骨折患者（約11%）、感染症（約10%）、消化管出血（約8%）であり、血液疾患は約7%でした。

住民健康診断（健診）あるいは職場の人間ドックなどで貧血を指摘されましたら、消化器の疾患や悪性腫瘍の精密検査が必要ですので、必ず受診してください。

■問い合わせ先
市立病院総務課 ☎(0857)37-1522

環境大学

シリーズ vol.3

環境政策学科 / 環境デザイン学科 / 情報システム学科

http://www.kankyo-u.ac.jp/

E-mail:nyushi@kankyo-u.ac.jp

■問い合わせ先
入試広報課
☎(0857)38-6720

TOICS

トピックス

IT教育が高い格付け！ 中四国・近畿で2番目

鳥取環境大学では、環境問題の解決に応用できる情報システムやネットワーク技術の開発・運用を基礎から学び、社会の多様なニーズをとらえ、豊かな発想力を4年間で養っています。こうした教育が実を結び、経済産業省が民間の研究所などに委託して行った、国内大学・大学院のIT技術者教育「格付け」（405学科・大学院288専攻を調査）が、中四国・近畿地方で2番目となりました。IT産業界が求める人材育成につながっています。

第2回高校生環境論文TUESカップ論文発表会

とき 10月9日（日）午後1時～午後3時30分

開場 午後0時30分

（先着順。途中入場はご遠慮ください）

ところ 鳥取環境大学 鳥取市若葉台北一丁目

内容 第1部 論文発表会・表彰式

テーマ「環境問題－今私たちにできること－」

第2部 特別講演

講師 椎名 誠 さん（作家）

テーマ

「異文化から再発見する日本」

※入場は無料です。



PROJECT

プロジェクト
研究紹介

※ アフォーダンスの考えを 利用した携帯電話

ほとんどの人が持っている携帯電話ですが、今や多機能化が進み、説明書を読まなければ操作方法が分かりませ



ユーザの視点でタッチパネル式携帯電話を考えたメンバー

ん。情報システム学科・石井克典教授の指導するプロジェクト研究（2年生、3学科混合）では、「アフォーダンス」という考え方に基づき、説明書がなくても操作でき

る携帯電話をソフトウェアで作成しました。

一般の方へのアンケート調査や、携帯電話の実物調査を行った結果から、見た目機能で連想し操作できるタッチパネル方式携帯電話を考案、パソコン上で実際に動かして評価実験を行いました。このプロジェクト研究では、ただ単純に新しい技術を身につけるだけでなく、ユーザの視点で、使いやすい世の中で役に立つものをつくるという考え方を学びます。

※アフォーダンス

人間がモノの使い方を考えるのではなく、モノが使い方の情報を与えてくれるという考え方。